

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!  
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索



アサヒグローバル株式会社 代表取締役  
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役  
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役

文/久保川 議道

text:Yoshimichi Kubokawa

## 『ゴールドエイジ』が日本を救う方法①②

ホームページ

asahiglobal.co.jp  
├ gloval-mie.co.jp  
├ super-chintai.com  
agg-hd.co.jp ─┬─ goldtrust.co.jp  
├ goldage.co.jp  
├ otona-souzoku.com  
└ kubokawayoshimichi.com

ゴールドエイジは日本を救えない。と私は前回のひとりごとで弱音を発言しましたが、どうも考えてみると『2つだけ方法』があることが分かりました。

それは①サ高住の訪問介護の一人当たり介護報酬が、高齢者の要介護度の上限金額の80%あればゴールドエイジは赤字にならないということ。次に②つ目は、働くヘルパーさんの時間の80%をケアプランの訪問介護に使えばゴールドエイジの赤字はありません。

要するに今までは上限金額の50%~60%しか報酬がありませんでした。そして働くヘルパーさんもロスの時間ばかり多くて、本来のヘルパーさんの仕事であるケアプランの訪問介護に入っている時間が50%~60%だったのです。しかし、これらの問題は口で言うことは簡単なのですが、いざ実行しようとするとももの凄く難しいことばかりなんです。

①は介護される高齢者も金額が増えること。自分の自己負担金額(1割~3割)も増えるので介護は少ない方がよい。その分はゴールドエイジの生活支援費(定額)で面倒みてもらいたいと誰でも考えてしまいますね。そうすると介護報酬が下がりますから

ゴールドエイジは赤字になってしまいました。

②のヘルパーさん達も、車に乗って出かける二件二件の訪問介護と違って、ゴールドエイジの館内に高齢者が居るので、ついでに加減になってしまつて、本来の『訪問介護の報酬』を忘れてしまいます。そしてケアマネージャーも、サ高住の訪問介護は特殊ですから正しいケアプランの組み方が分からないのです。やはり効率のいいサ高住のケアプランを作っていたかかないと、介護報酬の上限率が下がりますし、ヘルパーさんもムダな時間が多くなつて訪問介護に入れる時間が少なくなりますね。これはダブルパンチでゴールドエイジの赤字の原因になっていました。私達もヘルパーさん達も一生懸命にやっていると『ゴールドエイジは日本を救えない』となつてしまったのです。

やはり同じ内容の介護をしているのに、サ高住のゴールドエイジは二人当たり介護報酬はたったの『6万円』。特定施設『20万円』。特養『28万円』。老建『30万円』。療養型『45万円』。これだけの介護報酬の格差があるのは日本だけの不平等だと私は思います。厚労省さんのやり方と考える方は私には全く理解不能ですね。そして

働くヘルパーさん達の給料はどこもだいたい同じなのです。もうサ高住はやっていられませんね。

はい、これが私の不満と弱音と言いつた訳なのですが、そこで負けてしまわずと本当に『ゴールドエイジは日本を救えない。』となつてしまいます。ですから今年に入ってから全国の館長さん30名程の会議を毎月行つて、真剣に話し合つて改善につぐ改善を行つていきます。みんな本当に良く頑張つてくれていますので、年末までには①と②の問題を解決できるのではないのでしょうか。

館長さんは数十人の部下の社員さんのお世話をしながら、厳しい業務改革を行うのですから苦勞が絶えませぬ。しかしその苦勞は『世のため人のため』です。人の役に立つ仕事をすれば必ず感謝されたり、喜ばれたり、そして自分自身も成長します。館長さん達には頑張ってもらいたいものです。そして頑張つた全館長さん達について、私は今年は海外旅行に行くことを計画しています。

当然ですね。苦勞した人達は少しぐらいの楽しみがないとやつてられません。私も楽しみにして、もう少し頑張りますよ。か…。

わくわく  
夢

ニュース【高齢者住宅】

2017

5月

No.124

ゴールドエイジ  
春日井

理学療法士と提供する訪問介護サービス!  
日常の些細な動きを継続して「動き」を大切にリハビリできる。  
そんな生活の中でリハビリを行えるサービスを目指しています。

